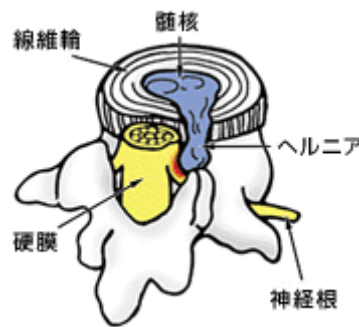


椎間板ヘルニアに対する内視鏡下手術

Micro-endoscopic discectomy (MED 法)

【腰椎椎間板ヘルニアの病態と原因】

椎間板は線維輪と髄核でできていて、背骨をつなぎ、クッションの役目をしています。その一部が出てきて神経を圧迫して症状が出ます。椎間板が加齢などにより変性し断裂して起こります。悪い姿勢での動作や作業、喫煙などでヘルニアが起こりやすくなることが知られています。

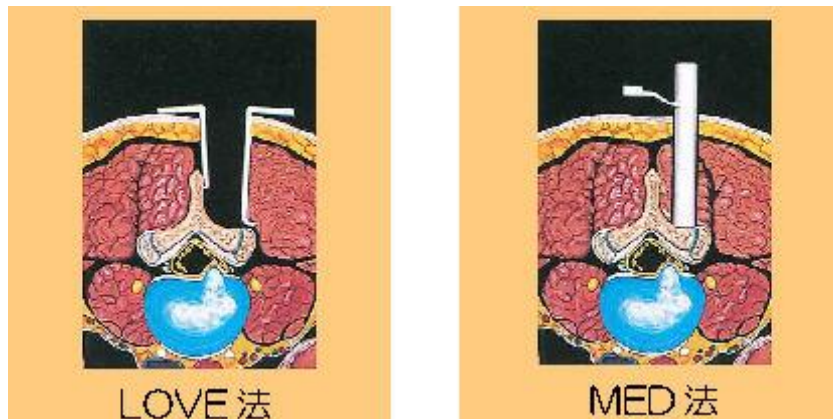


従来行われている手術方法は LOVE 法といい、皮膚を 5~6 cm 切開後に筋肉を骨から剥がして、神経を確認して、その奥にあるヘルニアを摘出するものでした。

現在は内視鏡技術の進歩により新しい手術方法が開発されて広まっています。当院では腰椎椎間板ヘルニアには MED 法を行っています。

MED 法は、約 2cm の切開から内視鏡を挿入して、モニターで見ながら行います。筋肉をわずかに避け、必要に応じて部分的に骨切除を行い、神経をよけてヘルニアを摘出します。

MED 法と LOVE 法



■MEDの特徴

手術時間は1時間程度です。出血はほとんどありません。多くの患者さんは、術直後より、強い下肢痛が改善されます。しびれは神経の状態によるので、軽減はしますが、残存する方もいます。

■MEDのメリット

- 1.傷が小さい。
- 2.術後の痛みが少ない。
- 3.入院期間が短い。

■MEDのデメリット

1. 熟練した手術手技を要する。
2. 新しい手術方法なので、術後長期成績が不明。
3. まれですが、手術部位の状況によっては、手術中従来法のように創を広げ、処置をしなければならないことがあります。

■MED法手術の一般的スケジュール

①手術前日 入院

- ・術前の準備をします
 - ※ 飲食夕食まで摂取可能

②手術当日

- ・注射・点滴等事前準備をします
- ・ストレッチャー、または歩行で手術室へ移動

③手術

- ・病室へ戻ります
 - ※ 飲食・飲水はお腹が動くまで不可

④術後1日

- ・飲食できます
- ・ベッドから起き上がれます

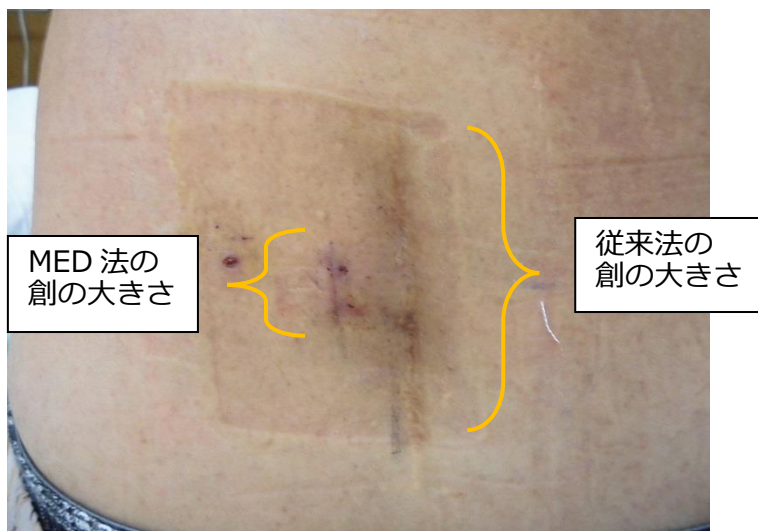
⑤術後2日

- ・散歩をすることができます
- ・余分な血を創の外へ排出する管（ドレーン）を抜きます

⑥術後3日～5日退院です

- ・1週～2週 軽作業：可 4週～順次負荷をかけていきます。8週～重労働開始
- ※以上は一般的なスケジュールであり、個人差があります

■MED法手術の創の大きさ比較



■治療については？

当院の脊椎専門医師にご相談ください。

診察、検査させていただいた上で、手術適応、日程などの調整をさせていただきます。